

## 第 10 回通常総会議事録

日本繊維輸出組合

1. 開催通知日 平成21年 5 月 1 日(金曜日)
2. 開催日時 平成21年 5 月28日(木曜日)午後 3 時30分
3. 開催場所 大阪市中央区備後町 3 - 4 - 9  
輸出繊維会館 中地階会議室
4. 組合員総数及び出席者数  
組合員総数 146社 この議決権数 146個  
本人出席(委任状を含む) 107社  
代理出席 12社  
出席者合計 119 社 この議決権数 119 個
5. 出席理事 岡藤理事長、佐々副理事長兼理事長代行  
青木、岩竹、西田、小山、八木各副理事長  
小村専務理事  
加藤、川島、山下、泉、永谷各理事
6. 出席監事 中島、守谷各監事
7. 臨席者 経済産業省製造産業局繊維課通商室 高木室長  
石塚国際調整係長  
近畿経済産業局通商部通商課 倉内課長補佐
8. 議 題  
第 1 号議案 平成20年度事業報告書及び財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分各案承認に関する件  
第 2 号議案 平成21年度事業計画書並びに収支予算書各案承認に関する件  
第 3 号議案 平成21年度における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法案承認に関する件  
第 4 号議案 定款の一部変更案承認に関する件  
第 5 号議案 役員一部改選に関する件
9. 開催宣言

小村専務理事より、組合員総数及び本日出席組合員数の報告を行い、本通常総会が過半数の出席を得て、合法的に成立する旨の確認を行った。

次いで、本通常総会の議長の選任を諮ったところ、満場一致をもって岡藤理事長が選任されたので、岡藤理事長が議長となり、開会の挨拶を述べるとともに、本日臨席頂いている関係当局の出席者に謝意を表し、議事の審議に入った。

## 10. 議 事

### 第 1 号議案 平成 20 年度事業報告書及び財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分各案承認に関する件

議長より、平成 20 年度における事業報告書及び決算書の各案について、それぞれ配布資料の通り取り纏めたので審議願いたい旨提案の後、小村専務理事より次の通り説明を行った。

平成 20 年度の実業報告書(案)については、輸出概況としては原油の高騰、円高の中に在って平成 20 年の繊維品輸出は前年比 3.9% 増の 87 億 6,733 万ドルとなった。また、平成 21 年の輸出見通しは前年比 18.2% 減の 71 億 7,093 万ドルと策定した。

平成 20 年度の主な組合事業としては、輸出組合としての定例の業務活動である、包括保険の運用、原産地証明書の発給、繊維品輸出統計に加え、主要各国の繊維貿易統計作成などの諸活動のほかに (a) 国内関係では各委員会・部会活動としては日本と各国との経済連携協定(EPA)締結交渉について情報収集と提供、海外市場開拓・情報収集・広報活動においては、上海物流視察団の派遣、「上海分会」の運営、組合広報誌の T T N への集約化、及び、輸入組合及びテキスタイル倶楽部との講演会・研修会の共催など、また、(b) 対外関係では日韓繊維産連合同会議への参加、日本繊維産業連盟「繊維通商問題研究会」への参画、日本繊維輸出機構の事務局としての諸活動を行った。

平成 20 年度の決算書(案)については、当組合の会計口は一般会計口及び輸出振興対策口に加え特別会計口(スカーフ口、敷物口、漁網口、紙帽子口)に分かれ、次の通り説明報告を行った。

特別会計口のうち、平成 20 年度漁網口における損益計算書(案)では、収入の部では、前期繰越金 1,277 万 7 千円に受取利息の 1 万 3 千円を加えて、収入合計は 1,279 万円となった。これに対して、支出の部では、米国シアトル「PACIFIC MARINE EXPO」視察団の派遣費用及び部会会議費に要した費用が 261 万 2 千円により、期末剰余金が 1,017 万 7 千円となり、その全額を、次期繰越金とする。

その他の特別会計(スカーフ口、敷物口、紙帽子口)部会においては、何れも特段の活動を行っていないため殆ど部会、分科会に要した費用が計上されているのみである。

次に、輸出振興対策口については、平成 20 年度の損益計算書(案)では、収入の部は、前期繰越剰余金の 4 億 2,714 万 7 千円に受取利息の 204 万 5 千円及び、雑収入(国債受取利息) 17 万 5 千円を加えて、収入合計は 4 億 2,936 万 7 千円となった。

これに対して、支出の部では、国内関係事業費(統計資料購入費及びホーム・ページ

のメンテナンスやパソコン関連機器購入等の諸経費等)が378万2千円、海外関係事業費は、上海分会運営費が93万4千円、当期受取利息の一般会計口への繰入金支出204万5千円により、支出合計は676万2千円となった結果、当期末処分剰余金が4億2,260万5千円となった。

また、平成21年3月31日現在の貸借対照表(案)では、借方の資産合計4億2,260万5千円に対して、負債はなく、当期末処分剰余金が4億2,260万5千円となり、剰余金処分(案)として、未処分剰余金の全額を、次年度繰越金とする。

続いて、メインの一般会計口の損益計算書(案)については、収入の部では、当期賦課金等収入合計は1億7,036万円となった。これに対して、支出の部では、事業費用1,783万4千円及び一般管理費1億3,089万7千円で、定年退職者(3名)による人件費の大幅減少と諸経費の節約に努めたことにより、2,162万8千円が事業利益金額となり、これに、事業外収益356万7千円及び特別利益(退職給与引当金取崩益)4,720万2千円を加えた結果、当期純利益は7,239万8千円となった。

平成21年3月31日現在の財産目録、貸借対照表(案)では、資産の部では、銀行預金等の流動資産が6億5,433万9千円、敷金保証金等の固定資産が247万円、特定資産である退職給与引当預金が4,953万8千円で、資産合計は7億634万7千円となった。

負債の部では、未払金等の流動負債が127万9千円、固定負債である退職給与引当金が4,953万8千円で、負債合計は5,081万7千円となり、資産合計から負債合計を差引いた正味財産は6億5,552万9千円となった。

なお、この正味財産の内訳は輸出振興積立金3億円、輸出変動積立金1億5,277万2千円、繰越剰余金2億275万7千円となる。

以上の結果、一般会計口及び輸出振興対策口の平成20年度の財産目録総括表(案)及び、貸借対照表総括表(案)の通り、平成21年3月31日現在の期末正味財産合計額は10億7,813万5千円となった。

尚、平成20年度剰余金処分案について、一般会計口の当期純利益の7,239万8千円を加えた、当期末繰越剰余金2億275万7千円は、輸出振興積立金1億円、輸出変動積立金5千万円、残額5,275万7千円を次期繰越剰余金とした。

また、輸出振興対策口及び特別会計口に関する剰余金については、その全額を次年度繰越金とした。

なお、これらの平成20年度決算書(案)については、公認会計士による会計書類の精査を得て、去る4月20日に当組合監事の会計監査を受けている。

引続き、守谷・栗毛野・中島の3監事を代表して、守谷監事より、去る4月20日の監事会において、組合備付けの諸帳簿ならびに書類により監査の結果、組合の計算書類は、何れも正確にして異常無かったことを認める旨の報告があった。

以上の提案・説明及び監査報告に基づき審議の結果、全員一致をもって平成20年度事業報告書及び決算書各案について原案通り承認された。

第2号議案 平成21年度事業計画書並びに収支予算書案承認に関する件

第3号議案 平成21年度における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法案の承認に関する件

議長より第2号議案の平成21年度事業計画書並びに収支予算書(案)及び第3号議案の平成21年度における加入金、賦課金並びにその徴収の時期、方法(案)は相関連するので、一括審議願いたい旨提案があり、小村専務理事より次の通り説明を行った。

平成21年度事業計画(案)については、前年度と同様に、基本方針(輸出取引秩序の確立、不公正な輸出取引の防止、組合員の共通の利益の増進)に基づいて様々な対策と事業に取り組むこととするが、本年度においては、タスクフォースで検討頂いた、組合の中期経営計画と賦課金率の見直し、輸出振興対策事業(海外市場調査、展示会、内外関係団体との交流促進、現地商社会への協力と設立、講演会・説明会の充実、繊維貿易統計の拡充)に特に力を注いで進めて行くこととしたい。

平成21年度の一般会計口の収支予算書(案)では、収入予算については、(a)賦課金収入として、均等割賦課金は組合員数の減少により前年度決算比10%減、主要財源である船積賦課金は平成21年の輸出見通し(前年実績比18.2%減)を基に算定して16.0%減、原産地賦課金は20.0%減としてそれぞれ予算額を計上し、その他収入として、(b)受取利息、(c)退職給与引当金取崩収入、(d)繰入金収入の計上により、当期収入合計は前期決算比62,094,418円減の159,035,000円と策定している。

一方、一般会計口の支出予算は、(a)事業費では、総会費(輸入組合との合同懇親会費を含む)、理事会費、委員会費については、役員・委員の全員参加を前提に算定していることから何れも前年度決算に比べ大幅に増加し、貿易振興事業費(合同賀詞交歓会費用が中心)、通関情報作成費も増加するが、団体会費は減少、また、(b)管理費ではできる限り節約に努めると共に、人件費は職員の定年退職により減少、事務所費、事務機器関連費は微増とし、(c)退職金は上記の通り定年退職者用の退職金を計上し、当期支出合計は前年度決算比24,490,403円減の124,241,000円と策定している。

この結果、平成21年度の収支差額は34,794,000円の黒字となる見込みである。

次に、輸出振興対策口については、支出予算では事業費として今期予算として、25,818,000 円を計上した結果、平成 21 年度の繰越剰余金は 396,787,156 円となる見込みである。

なお、輸出振興対策事業費の具体的な使途は、海外関係では日韓繊維産連合同会議（繊維産連関連）、日中繊維貿易定期協議（輸入組合と合同）、日中韓ビジネス・フォーラム（経団連関連）といった国際会議への参加費用、上海分会（輸入組合と合同で設置）関連費用、海外展示会関連費用、海外市場調査団派遣費用など、また国内関係では海外統計作成資料購入費、ホームページ関連費用等の諸経費である。

従って、一般会計口及び輸出振興対策口の合計の平成 21 年度収支予算総括表(案)では、当期収入合計が 1,236,437,970 円、当期支出合計が 151,559,000 円、次期繰越収支差額は 1,084,878,970 円となる見込みである。

平成 21 年度における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法(案)については、いずれも前年度と同じで、(a) 組合加入賦課金は 50,000 円、(b)均等割賦課金は月額 3,000 円で、1 年分を纏めて請求、(c)船積賦課金は 1 FOB 米ドル当り 0.055 円（無為替輸出を含む）で、その徴収の時期・方法も従来と同じとなっている。

以上の提案・説明に基づき審議の結果、平成 21 年度事業計画（案）及び収支予算(案)並びに平成 21 年度における加入金、賦課金（案）について、何れも全員一致をもって原案通り承認された。

#### 第 4 号議案 定款の一部変更案承認に関する件

議長より、当組合事業の一つである包括保険の平成 21 年度以降の廃止、及び、組合員数減少に伴う理事役員数の改訂、さらに、輸出入組合根拠法の改正、施行に伴い、定款の一部を変更したい旨提案が行われた。引続き、小村専務理事より次の通り説明が行われた。

独立行政法人日本貿易保険から平成 21 年度以降の保険特約を締結しない旨申し入れに対し、当組合はこれを受諾する事により、定款の事業項目第 8 条第 1 項(2)の子、組合員のためにする貿易一般保険包括保険契約の締結を削除すると共にリから又迄を繰り上げる。

平成 12 年 4 月の合併当時からすると組合員数は約半数となった。これに合わせ定款(役員の数)第 27 条(1)の理事の定数 41 人以上 46 人以内を 35 人以上 41 人以内に改める。

平成 18 年中小企業等協同組合法が改正され、当輸出組合の根拠法である輸出入取引法の中小企業等協同組合法を準用する部分に関し、平成 19 年 4 月 1 日付で輸出入取引法施行

規則が改正、施行された。これに従い本輸出組合の定款(総会の議決事項)第48条(4)の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の承認を事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案の承認に改める。

以上の提案・説明に基づき審議の結果、定款の一部変更案について、何れも全員一致をもって原案通り承認された。

#### 第5号議案 役員一部改選に関する件

議長より、6名の理事及び1名の監事より辞任の申し出があったのに伴い、第37回理事会において補充役員候補者を推薦すると共に、定款に基づき補充役員候補者の公募を行ったが、当該候補者の届出はなかったため、理事会推薦の候補者を新役員として承認願いたい旨の提案が行われた。引き続き、小村専務理事より次の通り説明が行われた。

このたび、岡藤 正広 理事長(伊藤忠商事株式会社)  
岩竹 常博 副理事長(三井物産株式会社)  
北野 弘 副理事長(NI 帝人商事株式会社)  
石原 啓資 副理事長(双日株式会社)  
中山 純 副理事長(豊田通商株式会社)  
河野 光輝 理事(小杉産業株式会社)  
栗毛野雄二 監事(ユニチカ通商株式会社)

より、辞任の申し出があり、理事、監事に欠員が生じることになった。

また、理事長は1年交替のため新理事長選任の必要性が生じた。このため第37回理事会において下記の補充役員候補者6名を推薦すると共に、定款第33条第5項の規定に基づき、本年5月1日付け21TEX第12号をもって本総会の会日を公告し、同第33条第6項に基づく補充役員候補者の公募を行った結果、締切日までに当該補充候補者の届出はなかった。

については、定款第33条第1項の規定により、下記の理事会推薦の候補者を補充役員として承認願いたい。

#### [ 理事、監事候補者 ]

理事 太田 道彦 氏 (丸紅株式会社 常務執行役員)  
理事 櫻井 龍一 氏 (三井物産株式会社 コンシューマサービス事業部  
ファッションビジネス事業部部長)

理事 西川 寛 氏 (NI 帝人商事株式会社 取締役衣料繊維部門長)  
理事 大村 義朗 氏 (双日株式会社 生活産業部門 物資・繊維本部長)  
理事 島田 正徳 氏 (豊田通商株式会社 執行役員)  
監事 大給 孝浩 氏 (ユニチカ通商株式会社 貿易部部长)

以上の提案・説明に基づき審議の結果、全員一致をもって原案通り承認された。

以上により、本総会の議事の審議を終えたので、閉会とした。

上記議事の経過の要領を議事録とし、相違ないことを証するため議長及び出席した理事は各々記名押印する。

平成 21 年 5 月 28 日

日本繊維輸出組合

議長 理事長 岡藤 正広

副理事長兼理事長代行 佐々 和秀

副理事長 青木 均

” 岩竹 常博

” 西田 義博

” 小山 文敬

” 八木 雄三

専務理事 小村 恒夫

理事 加藤 元信

” 川島 正博

” 山下 孝治

理事

泉 潔

”

永谷 孝広